

2011年9月期第1四半期決算概要

2011年2月



株式会社 **エスケーエレクトロニクス**

<ご注意>

本資料および口頭にて提供する将来の当社業績見通しは、直近で知り得る情報をもとに作成したものであります。しかしながら、世界経済や当社を取り巻く事業環境は急速に変化いたします。つきましては、今後当社の業績見通しが本資料と異なる可能性もございますので、ご了解願います。

2011年9月期 第1四半期の概況 (2010年10月~12月)

FPD市場の動向

* 投資動向

- ・韓国2社(三星電子、LGD)の第7.5世代/第8世代工場中国進出計画を中国中央政府が正式承認。
- ・台湾AUOの第7.5世代(FVO)の中国進出を台湾政府が承認。
- ・急増するiPhone・iPad用パネルの安定調達へアップル社及びFoxconn社が東芝モバイルディスプレイ、SHARP、日立ディスプレイズ3社に新工場建設を提案 (実現すると合計3000億円の投資)。

* パネル在庫・価格

- ・北米、中国向けのTV/パネル/セットを中心に過剰在庫の観測。年末商戦は好結果となったが、在庫一掃とはいっていない。
- ・パネル価格はPC用は横這い、TV用は引き続き下落。

* パネルの需給環境

- ・日本市場はエコポイント半減による駆け込み需要により、2010年薄型TVの販売は過去最高の24百万台以上に達する。
- ・iPadの爆発的ヒットにより、他社からも数多くのタブレットPCの紹介:

SAMSUNG「GALAXY Tab」、SHARP「GALAPAGOS」

当社グループの概況

- * 第10世代用フォトマスクは、計画想定より若干前倒しで受注
- * 日本、韓国、台湾で中小型から、大型まで全般的に受注好調
- * 多階調マスクの開発需要が強い状況が継続し、受注好調
- * マスク価格下落は大版を中心に継続

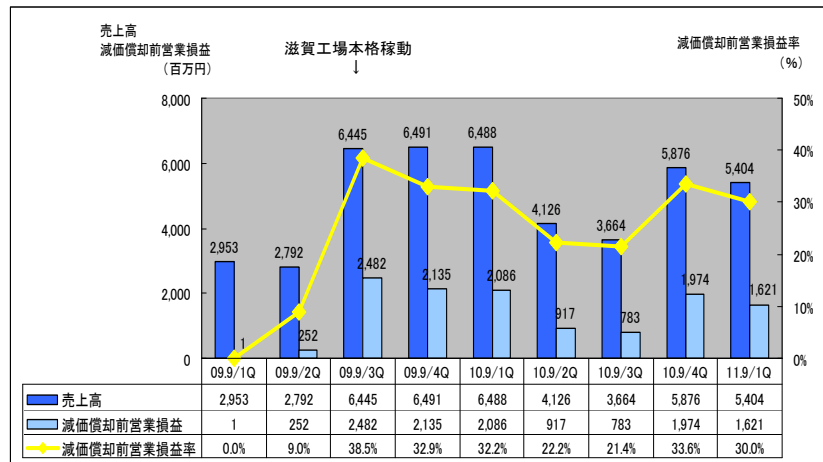
2010年9月期連結第1四半期決算概要

(単位:百万円)

	2010年 9月期				2011年 9月期 1Q	前年同期比 (%)	前四半期比 (%)
	上期		下期				
	1Q	2Q	3Q	4Q			
売上高	6,488	4,127	3,664	5,876	5,404	83.3	92.0
営業損益	713	△454	△592	612	778	109.0	127.1
経常損益	682	△482	△609	596	756	110.8	126.8
当期純損益	637	△322	△555	517	609	95.6	117.8

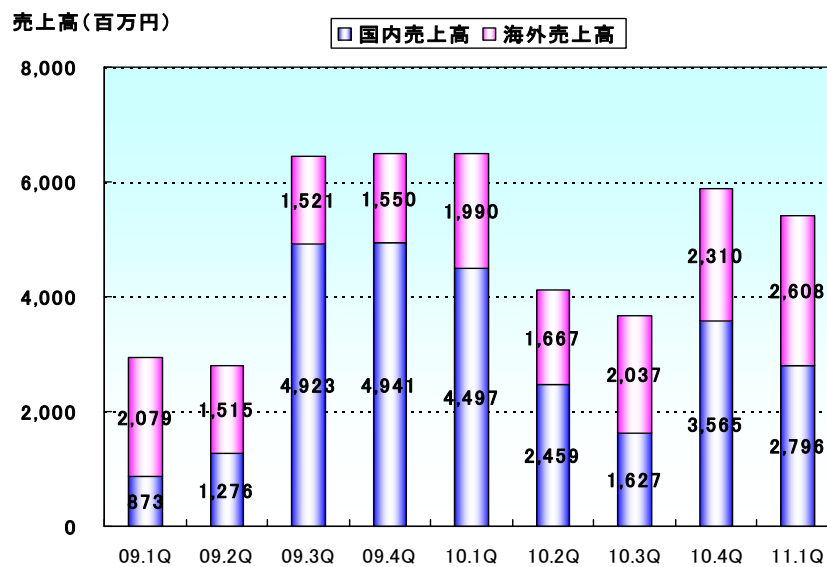
設備投資	11	10	29	57	14	127.2	24.6
減価償却費	1,373	1,371	1,375	1,362	843	61.4	61.9
研究開発費	44	51	57	87	70	159.1	80.5

四半期業績の推移



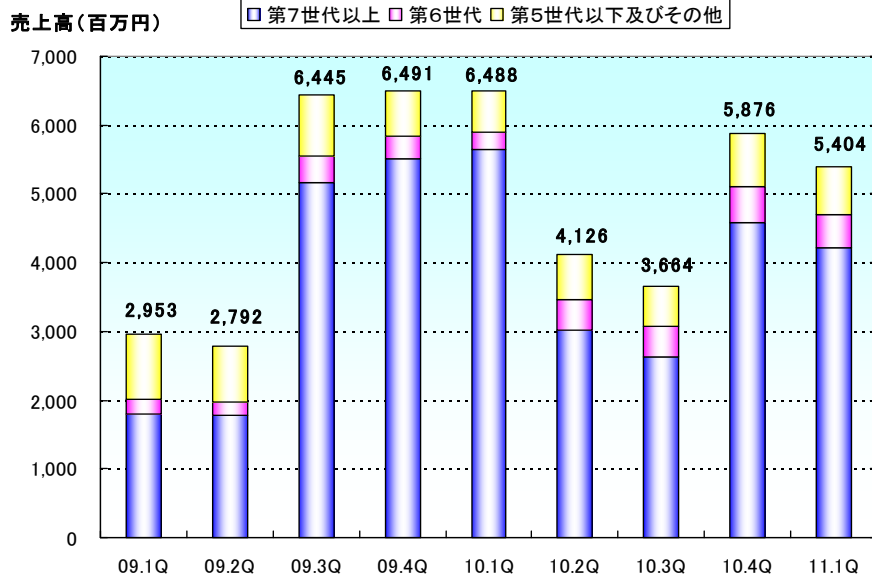
※減価償却前営業損益とは減価償却費を加算してキャッシュベースの利益を示したものです。(営業利益 + 減価償却費)

地域別フォトマスク売上高の推移

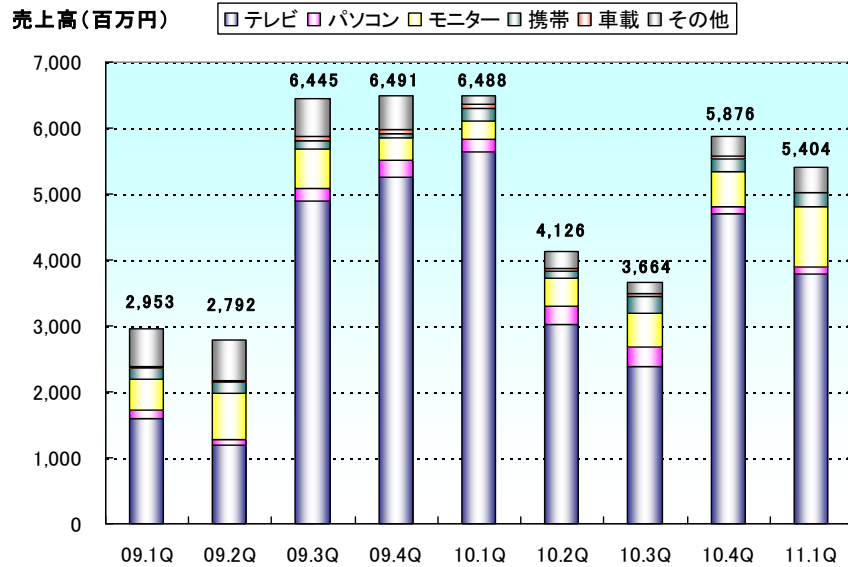


(注)海外向け売上高は間接輸出売上高を含んだ数値となっております。

世代別フォトマスク売上高の推移



アプリケーション別フォトマスク売上高の推移

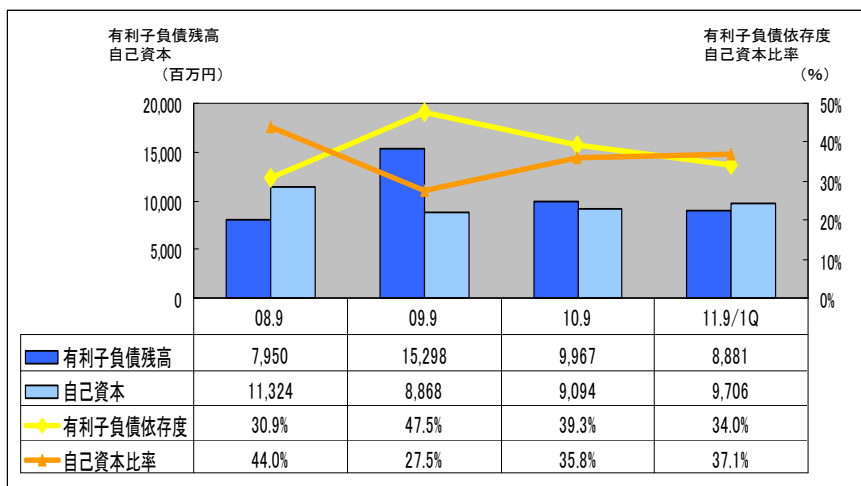


連結貸借対照表の状況

(単位:百万円)

科 目	2010年9月末	2010年12月末	前期末比
(資産合計)	25,380	26,146	765
現金及び預金	2,838	3,185	347
受取手形及び売掛金	6,885	7,721	836
たな卸資産	1,460	1,533	73
その他(流動資産)	746	986	240
有形固定資産	12,955	12,237	△718
無形固定資産	210	195	△15
投資その他資産	284	285	1
(負債合計)	14,971	15,030	59
支払手形及び買掛金	3,965	5,190	1,225
長期借入金(1年以内返含む)	9,965	8,881	△1,084
未払法人税等	24	97	73
その他(負債)	1,039	959	△80
(純資産合計)	10,409	11,116	706
自己資本(株主資本、評価・換算差額等計)	9,094	9,706	612
自己資本比率(%)	35.8	37.1	1.3
有利子負債残高	9,967	8,881	△1,086

自己資本及び有利子負債の推移



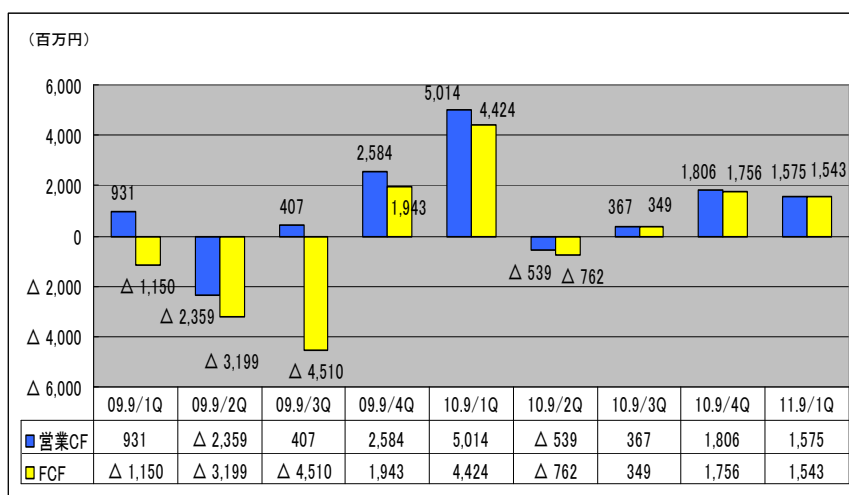
※有利子負債依存度は、総資産に占める有利子負債の割合(%)を示したものです。

キャッシュ・フローの状況

(単位:百万円)

科 目	2010年9月期 第1四半期	2011年9月期 第1四半期
営業活動によるキャッシュフロー	5,014	1,575
当期純利益	637	609
減価償却費	1,373	843
その他	3,004	123
投資活動によるキャッシュフロー	△590	△32
フリーキャッシュフロー (営業CF+投資CF)	4,424	1,543
財務活動によるキャッシュフロー	△1,813	△1,227
現金及び現金同等物の増加額	2,641	347
現金及び現金同等物の四半期末残高	5,055	3,185

フリー・キャッシュフローの推移



2011年9月期 第2四半期以降の見通しについて

FPD市場の動向

- * 投資動向 ⇒ ・韓国、台湾大手パネルメーカーが第11世代ライン設備投資の検討を継続。
・SMD、LGディスプレイが有機EL第5.5世代ラインへの投資。
・iPhone、iPad対応パネル生産ラインの増設及び新設計画。
(日本国内では、アップル製品向けにパネルメーカーが中小型ラインへの投資を検討。)
- * パネルの需給環境 ⇒ ・欧米でのTV販売回復が不透明。
・日本では、液晶TVのエコポイントが2010年12月以降半減、2011年7月の完全デジタル放送化に向けたTV需要はまだあるものの、出荷台数は大幅な減少を予想。
・中国を含む新興国のテレビ需要は引き続き増加。
・スマート、タブレット需要により中小型パネルはタイト感が継続。
- * 技術動向 ⇒ ・スマートフォン、タブレットPCの市場拡大により、中小型パネルでは、高精細に適した低温ポリシリコン(LTPS)技術と低消費電力が期待できる有機EL技術の開発需要が高まっている。

当社グループの概況

- * 第10世代用フォトマスクの需要が不透明
- * 第8世代以下のマスクは、開発需要が小休止。引き続き需要は期待できるもののパネルメーカーの収益状況がマスク需要に影響を与える
- * 付加価値マスクの差別化による収益力の強化
- * コスト削減と高い歩留りの維持・継続

2011年9月期連結決算業績予想

(単位:百万円)

	2010年9月期(実績)		2011年9月期(計画)			
	1Q	上期	1Q (実績)	上期	下期	通期
売上高	6,488	10,615	5,404	9,100	9,100	18,200
営業利益	713	259	778	210	240	450
経常利益	682	200	756	160	190	350
当期純利益	637	315	609	220	170	390
設備投資	11	21	14	750	200	950
減価償却費	1,373	2,744	843	1,700	1,730	3,430
研究開発費	44	95	70	210	240	450
一株当たり配当	-	-	-	-	-	1,000円

<TOPICS> パネルメーカー設備投資動向について

液晶と有機EL用パネル工場の建設計画

